

ボールパーク構想調査特別委員会（要点筆記）

令和7年8月7日（木）
午後1時30分 開議

○委員長（山本裕介）

ただいまからボールパーク構想調査特別委員会を開催します。

協議題 1. 調査事項について、(1)委員会の方向性についてを行います。

当委員会のテーマを「ボールパーク構想調査」とし、設置目的を「スポーツ振興によるまち作り」に至った背景を説明した後、委員会としての方向性について協議していきたいと考えています。

近年、アーバンスポーツなどの個人競技や新しいスポーツが広がりを見せ、競技そのものだけでなく観戦や仲間との楽しみ方も多様化しています。その中で、誰もが関われる場の必要性を感じていますが、既存施設だけでは十分に対応できないと考えています。そこで、多様なスポーツ文化に応えられる場を整える必要があると考え、「ボールパーク構想」について調査することに至ったものです。ボールパーク構想は単なる球場整備にとどまらず、周辺施設と一体となった多様な活用を想定し、市民の賑わいを育む多目的な公共空間となることを期待するものです。また、半田市の未来の可能性を切り開き、20年、30年後においても「選ばれるまち」としての価値を高めていく取組みとして検討したいと考えるものです。

さらに、構想を検討している最中に、中日ドラゴンズの2軍本拠地移転検討の発表がありました。具体的な計画は未定ですが、今後スポーツチームの誘致も検討するとした場合に参考となる情報と考え、お伝えします。

この件について、ご意見をお願いします。

○中村和也委員

ボールパークは、野球場に付随してホテルや温泉施設、飲食店などがある複合施設というイメージを持っています。この委員会の中で、ボールパークという言葉の定義について共通認識を持つておく必要があると思います。委員長がイメージされているボールパークについて説明をお願いします。

○委員長（山本裕介）

ボールパークと言われるとおそらく北海道のエスコンフィールドを皆さんイメージされると思います。基本的には野球場を中心としつつも、それに限定せず広く可能性を探りたいと考えています。また、幅広い世代をターゲットとしたいため、ボール競技を中核としたものをボールパークとして考えています。

暫く休憩し、皆さんからの意見を伺います。

午後1時37分 休憩

○委員長（山本裕介）

会議を再開します。

休憩中の主な意見として、

- ・競技スポーツだけでなく、市民の健康づくりや観戦スポーツも含めた総合的な視点が
必要である
- ・既存の体育館建設計画との整合性はどのようにするのか
- ・財政状況が厳しい中でも、一定の投資は必要であり、PFI など民間活力の活用も視野
に入れるべきだ

などのご意見をいただきました。

協議の結果、当委員会の方向性としてスポーツをする人や観戦する全ての世代の人が楽しめる場所を作っていくとしてよろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり。】

それでは、そのように進めさせていただきます。

次に、(2)「半田市の現状について」を行います。

本日は、半田球場およびスポーツ施設の現状と稼働率について、教育部より説明いただきます。

○スポーツ課長（門田和博）

資料2に基づき説明。

○委員長（山本裕介）

この件について、委員の皆さまから何かお聞きしたいことがありましたらお願いします。

特にご意見はないようですので、この件は以上とします。

1点確認です。今後は企画部と教育部にこの委員会にご出席いただきたいと思いますが、よろしいですか。

【「異議なし」との声あり。】

それでは、そのように進めさせていただきます。

次に(3)「行政視察について」を行います。

しばらく休憩します。

午後2時56分 休憩

午後3時00分 再開

○委員長（山本裕介）

会議を再開します。

視察は3つの候補日のうちの2日間の行程で行います。県外視察先については、正副委員長にご一任いただきたいと考えますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり。】

それでは、このように進めさせていただきます。

次に(4)「その他」を行います。

次回2回目の委員会は9月5日（金）、3回目の委員会は10月2日（木）となります。ご予定ください。

その他、何かある方はいますか。

ないようですので、以上で、ボールパーク構想調査特別委員会を終わります。

午前3時01分 散会